

# 「第7回 都立高校向け生成AI研修会(入門研修)」開催



2025年11月12日、都立高校教職員を対象に、授業実践における生成AI活用を学ぶ第7回研修会を実施しました。東京都立葛飾商業高等学校の川崎先生による実践紹介を通して、AIと対話しながら思考を深める学びのデザインや、授業を超えて学びを継続させる仕掛けづくりについて理解を深めることを目的としました。

## AIメニューを使う

都立AIでは、誰かが作成したAIメニューを再利用することで、利用者は自分でプロンプトを作成することなく生成AIを便利に利用することができます。

### スクリーンショットの貼り付け

PDFや画像、スクリーンショットをAIに読み込ませて内容を参照しながら作成します。

出典：東京都立大学の人文社会学部のアドミッション・ポリシー  
[https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/admission\\_policy/hss.html](https://www.tmu.ac.jp/entrance/faculty/admission_policy/hss.html)

### キーワードベースで入力

キーワードをもとにAIが文章を生成し、内容を形にしていきます。

バレー部、副部長、部長をサポート、チーム運営

### 【おすすめ】推薦文下書き

9回利用・5日前

かしまりました。これまでいただいたご回答をもとに、1000字程度の「ですます調」の推薦書初稿を作成いたしました。

〇〇さんは、英語で学年上位10%以内の成績を収め、英検2級を取得しています。国語や歴史も上位3割以内の成績を維持しており、基礎的な学力が非常に優れていることが客観的に示されています。また、文化祭においては商店街と連携したコラボイベントの企画を担当しました。結果的に来場者は少なかったものの、店主への聞き取りを通じて告知不足が原因と分析し、SNSの活用が必要であると考察するなど、行動と振り返りを通じて思考力や判断力を高めています。

バレー部では副部長としてチーム運営をサポートし、協調性やリーダーシップを発揮しています。さらに、放課後には図書館で心理学関連の書籍を積極的に読み込み、地域の資料館を訪れて歴史調査を自主的に行うなど、人間・社会・文化に対する幅広い関心と強い探究心を持っています。

これらの経験から、〇〇さんは地域との交流を通して社会の問題解決に貢献できる人材に成長すると確信しています。志望校での学びにおいても、その探究心を活かし、積極的に課題に取り組み、社会に貢献する力をさらに磨いていくことを期待しています。

以上が初稿となります。ご確認いただき、修正点や追加したい内容があればお知らせください。

どうぞよろしくお願いいたします。

# 「第7回 都立高校向け生成AI研修会(入門研修)」開催

## ■ ゲストトーク

東京都立葛飾商業高等学校 川崎 玉幸 先生

テーマ：どこでも質問、ひとりでも議論。 教室を出たあとも学びにつながるAI

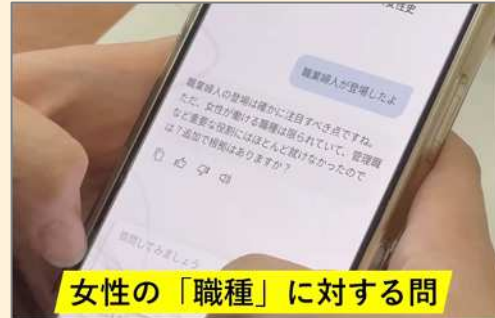
### ▶ 授業テーマ

- ▶ 近代以降の日本社会 における女性の地位と役割の変化を理解する
- ▶ 生成AIとの対話を通じて、理解と思考を深める

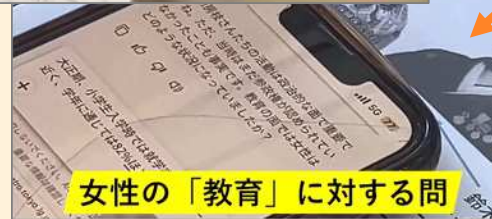
### 授業構成



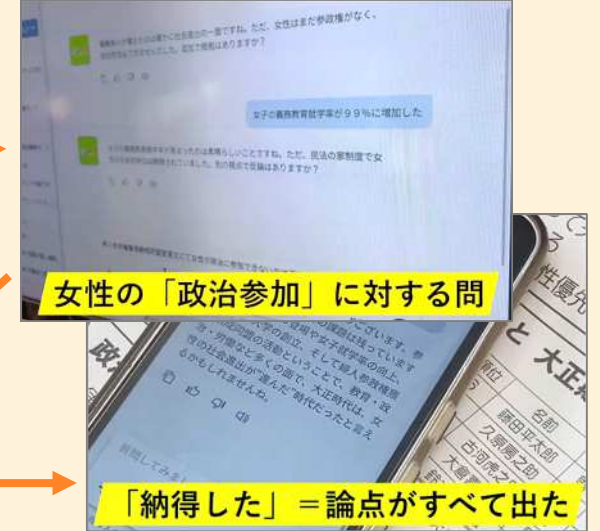
①大正期に生まれた「職業婦人」の概要を知る



女性の「職種」に対する問



女性の「教育」に対する問



女性の「政治参加」に対する問

「納得した」= 論点がすべて出た

②女性の社会進出についてディベートで理解を深める

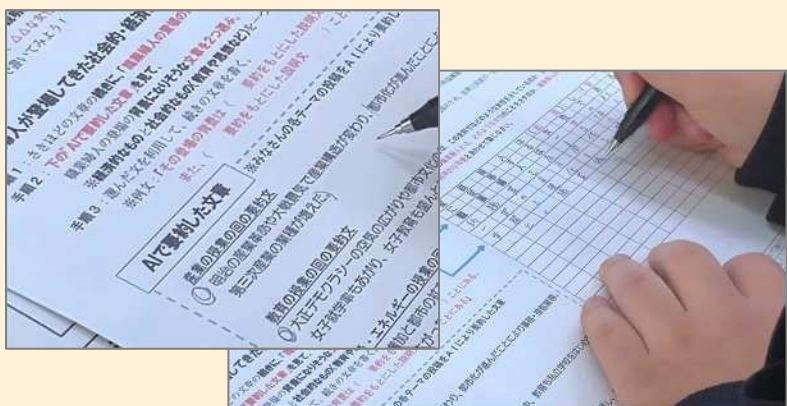
# 「第7回 都立高校向け生成AI研修会(入門研修)」開催

## ■ ゲストトーク

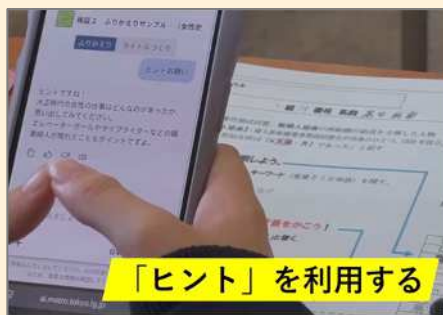
東京都立葛飾商業高等学校 川崎 玉幸 先生

テーマ：どこでも質問、ひとりでも議論。 教室を出たあとも学びにつながるAI

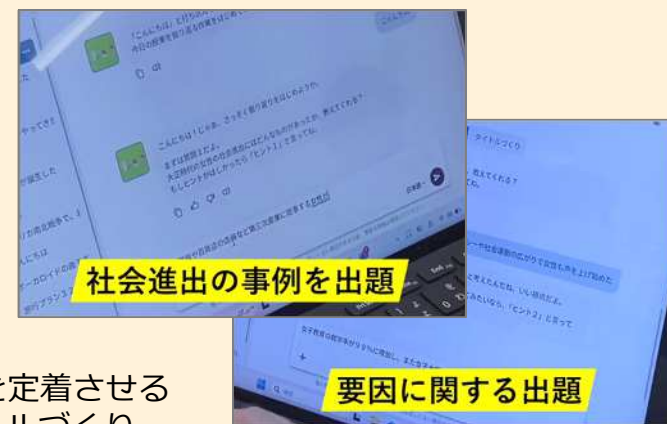
### 授業構成



③既習事項をAIでまとめて時代背景を考察する



④AIとの対話で振り返り、知識を定着させる  
⑤時代を象徴するような タイトルづくり



#### ◆都立AIを使っていなかったら

- ・画一的な授業展開になっていた
- ・授業が一回きりのものとなり、授業の継続を自宅でやるようなことがなかった
- ・討論が教室内でしかできず、消化不良となってしまう

#### ◆授業づくりのポイント

- ・AIで自分の「分身」をつくる  
⇒生徒一人ひとりがAIを自分の考えを整理する相手として活用
- ・AIを特別視しない  
⇒授業の自然な流れの中でAIとの対話を組み込み、主体的な学びを促す
- ・授業だけで終わらない仕掛けづくり  
⇒授業後もAIを活用して考察や調べ学習を深める仕組みを導入

